

地域素材を活用した体験活動

～ 高まり合いを求めて ～


1 はじめに

今年度も特色ある教育活動として地域素材を活用して様々な体験活動を行った。地域の豊かな自然とすばらしい人材を学校の教育活動に生かすことは本校に必要不可欠である。色々な体験や人とかかわりを通して、児童は地域のよさを再認識するとともに自尊感情を持たせることができる。活動自体は例年と同じではあるが、本年度は児童の姿に確かな高まりを感じることができた。

2 主な体験活動


(1) ところてん作り

大入小の自慢であるところてんは、大入の海で採れたテングサを使って、児童が地域の方の指導で手作りをしたものである。ところてんは児童に継承したい地域の食文化である。

日 時	活 動 内 容
7月	<ul style="list-style-type: none">○ 地域の方の指導で「スポーツ委員会」の児童がところてんを作った。○ 後日ところてん集会を開き、ところてんの作り方や食べ方の発表を行う。その後、大入地域特有のだし汁の食べ方でところてんを味わう。 <p>児童の大入自慢は「ところてん」である。</p> 
3月	<ul style="list-style-type: none">○ 全児童が大入の海岸に行き、地域の方の協力でテングサを採集した。○ 学校に持ち帰った後、「スポーツ委員会」が中心になって、乾燥させる世話をを行った。 <p>このテングサが翌年のところてん集会で使われる。</p>

(2) 茶道教室

地域に茶道の先生がおられるので、各学年が学期に1回ずつ茶道を習った。家庭ではあまりしなくなった正座や礼の仕方も習っている。日本の文化を知るよい機会となっている。

日 時	活 動 内 容
学期に1回	<ul style="list-style-type: none">○ お茶の作法だけでなく、畳みでの立ち振る舞い、道具の扱い方、準備や後片付け等をきめ細かに指導していただいている。○ 季節に応じたお花やお菓子、掛け軸で季節感も感じている。○ 卒業前に、お世話になった地域の方や保護者、先生を招いてお茶を振舞っている。 

(3) 大入小ふれあいの日

日頃の学習を発表する会で、本年度は大きな声と堂々とした態度を目標にして取り組んだが、当日は見事な発表が行われ、高まった児童の姿をみんなで確認した。学習発表会后に、やすらぎ会による「竹細工」女性会による「プラ板づくり」PTAによる「ホットケーキづくり」を楽しんだ。当日はふれあいいっぱいの学校になった。

日 時	活 動 内 容
10月	○    全校児童による楽器演奏 ふれあいお店コーナー

(4) お年寄りへのお弁当配り

3・4年生は総合的な学習の時間に、女性会の方と一緒に地域に住む1人暮らしの方にお弁当配りをしている。その日までに児童はプレゼントや歌、リコーダーの準備を行い、当日はお年寄りの家を訪ねて、ふれあいの時間をもつ。

日 時	活 動 内 容
年間 3回 程度	○ 地域の老人集会所に行って、お弁当作りの手伝いをした。 ○ その後、グループに分かれてお年寄りの家を訪問して、お弁当やプレゼントを渡している。歌やリコーダーも披露して、大変喜ばれている。

(3) 学校林体験活動

市内で唯一学校林を持つ本校は、年に1度、児童・保護者・地域の方と学校林に出かけ、作業をしたり、山ならではの活動をしたりしている。本年度は高学年の長年の夢であった山小屋が完成した。

日 時	活 動 内 容
-----	---------

9/30	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校林で使う道具や資材を手分けして運び、まず、自分の木の成長を確認をした。1年生は自分の木をきめてネームプレートをつけた。 ○ 歩道の整備や草取り、山小屋作りなどを保護者や地域の方の協力を得て行った。
------	---

(7) 地域文化の継承「大入のとんど」

5・6年生は、総合的な学習の時間のテーマの1つを大入の文化・伝統の継承にしている。今年度も地域の方にご協力していただき、学校で「ミニとんど」をつくった。

日 時	活 動 内 容
-----	---------

(8) 全校道徳授業

本校の特色である全校道徳は今年度で5年目を迎える。これまでの反省を生かして、今年度は「価値の深まる全校道徳」を目指して年間4回取り組んだ。内容の詳細は別のページに記載している。

3 成果と課題

- 今年度も地域や保護者の協力を得て、地域のよさを生かした体験活動を行うことができた。たくさんの人や物との出会いを設定でき、「子どもたちにできることはどんどんさせていく」ことができた。受身でないかわり方ができた。
- ご指導いただいた地域や保護者の方にも「児童とかかわることは自分達の刺激になり、反対に学ばせてもらった」という言葉をいただいたが、これこそ教育目標「ひびき合おう ともに」が具現化できたものである。
- たくさんの意義ある体験活動を行ったが、活動に追いかけているという感じがあり、精査する必要がある。